学校番号	J3025

令和5年度 【グローバルスタディーズ】

学年	2	週授業コマ数	2	授業時数(45分)		標準授業時数(50分)	○
使用教科書	1　New Crown 2 2　とくになし						
副教材等	自主教材						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

1　スポーツや楽器を演奏する人たちにとって、練習は不可欠です。思い通りに行かないこともあるでしょうが、練習をすることで確実に上達していきます。例えば理科のクラスにおいては、授業で教科書を使い、多くのことを覚えていくでしょう。しかし次のステップとして、実際に実験を行ったり、その結果をレポートにまとめたり、学んだ知識を実際に使っていくことが求められます。実験やプロジェクトを行う目的は、この学んだ知識の実践にあります。英語の授業において、緊張したりミスを恐れたり、得意でないことをしなければならないかもしれません。しかしこれは上達のための必要なステップです。教科書からの学びや暗記の方が、やりやすく感じることもあるでしょうが、クラスで多くのことを話し、考えを文字におこす練習をしていきましょう！

2　パターン認識や身近な数学の応用など、数学的思考や表現を必要とする様々な活動を指導します。教師は、生徒の英語コミュニケーション能力の向上に重点を置く。生徒たちはグループで活動し、時にはプレゼンテーションを行うこともあります。

2 学習の到達目標

1　自分の感情や考えを英語で表現する、他者の感情や考えを英語で理解する、正しい発音と文化的配慮を学ぶ

2　生徒は様々な数学的トピックを学びます。数学的トピックについて議論し、自分の考えを説明することを学びます。数学的トピックの応用を学びます。

(1) 日常で使える数学的な英語の語彙とフレーズを身につける。

(2)　異なる文化や時代の、私たちを取り巻く自然界や人間が作り出した世界の中にある数学について探究し、認識を深める。

(3) 論理的思考力、批判的思考力、創造的思考力を養い、国際的な様々な文脈の中で英語で問題を解決できるようにする。

(4) 適切なテクノロジーの活用により、生徒の数学への関心を深める。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期 Sem.	単元名 Unit	学習内容 Contents	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	1	1 Using when, if, because, and that in different contexts, with verbs and adjectives provided by the textbook and glossary. 、Using conjunctions and, or, but to express opinions and facts. 2 N進法 数え方、数の体系、10進数から異なる進数へ、n進数から10進数	a: b: c:			
	2	1 Use the following forms to speak about plans and dreams: He wants to…、My dream is to…、He went to the park to…、She has something to…、It's fun for me to… 2 N進法 数え方、数の体系、10進数から異なる進数へ、n進数から10進数	a: b: c:			
	3	1 Use the following forms and prepositions to speak, write, and listen about surroundings and situations: There is/are、Is there/Are there、Playing soccer is fun.、I like playing soccer.、Prepositions of place (on, around, etc.) 2 Ratios カーボンフットプリント、個人的な公害の削減				
2	4	1 Use the following forms to communicate about future plans and prospects, and to introduce an unfamiliar subject: I will give him a wallet.、This is…We call him…、He can/will/may/must… 2 Modeling ハニカムパターン、個人的な公害の削減	a: b: c:			
	5	1 Use comparative and superlative language and other forms to present and compare information: A is longer (more interesting) than B.、A is the (most popular) longest river in C.、A walks faster than B、I'll show you how to… 2 Modeling ハニカムパターン、個人的な公害の削減	a: b: c:			

	6	1 Lesson 6: Use present perfect tense to introduce your own experiences and inquire about others'. 、Read about other cultures, research one area of your own culture to present. 2 Patterns 美術・建築における幾何学模様				
3	7	1 Lesson 7: Use present perfect tense in perfective usage: I have just finished lunch. Amy has visited Nara twice. 、Speak about own experiences, inquire about others'. 2 Shapes & Solids、確立とData 表面積、体積、基本的な確率、箱ヒゲ図	a: b: c:			

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度